

共同生活援助・共同生活介護事業所「港夢」

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

日時：令和8年1月25日（月）

10:00～12:00

場所：ヴィレッジ1号館（オアシス）

【出席者】

（地域より） 4名 （利用者より） 2名 （家族より） 1名
（ヴィレッジせいわ/港夢より） 4名 合計 11名

1、牛尾管理者挨拶

2、出席者より自己紹介

3、的場課長より地域連携推進会議概要説明

- ◆ 地域と施設等が連携をすることにより、利用者と地域との関係づくりや、地域の方への施設等や利用者に関する理解の促進等を目的として、施設等の外部の方を構成員とした「地域連携推進会議」を年に1回以上、開催することが令和7年度より義務付けられました。

地域連携推進 会議の趣旨	以下を目的に、事業所において、地域の方等の外部の方にご参加いただき、会議の開催・施設訪問を実施します。 <ul style="list-style-type: none">・ 利用者と地域との関係づくり・ 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進・ 施設等やサービスの透明性・質の確保・ 利用者の権利擁護
会議の参加者	以下の中から事業所が選定します。 利用者 利用者のご家族 地域関係者 福祉に知見のある人
利用者の個人 情報の取り扱いに関する留 意事項	会議・施設訪問にご参加いただく中で、利用者の個人情報に触れる可能性があります。 利用者やそのご家族の中には、障害があることや、障害福祉サービスを利用していることを他者に知られたくない方もいらっしゃいます。 利用者の権利擁護のため、地域連携推進会議で知り得た利用者の個人情報は、外部に漏らすことがないよう、格別のご高配をお願いいたします。

4、共同生活援助・共同生活介護事業所「港夢」概要説明 意見交換

※概要説明については別紙参照。以下質疑応答等。

Q. ショートステイの利用者は？

A. 障害をお持ちの方が対象。

Q. サテライトなど自立した方の支援はあるか？補助はあるのか？

A. サテライトの方も家賃補助が1万円ある。

毎日職員が訪問して安否確認や健康状態の確認をしている。

食事や買い物の代行などそのときに支援の希望があれば対応している。

Q. 障害年金だけの生活で大丈夫か？入所者の生活費はどうなっているか？

A. 障害基礎年金2級を受給している方がほとんど。生活保護の方も3名程度はいる。

就労継続支援B型、A型などを利用してそこで就労収入で生活している人もいる。

Q. グループホームの入所者はどの市町村の出身者か？

A. 県外の方もいる。ほか、県域外の方もいる。ほとんどが圏域内の方。

Q. 地域連携推進会議はどこでもするのか？ほかの法人のグループホームからは連絡がない。

A. することになっている。

Q. 医療法人とグループホームがあるケースは珍しい？

A. 他市にもある。

Q. アルコール依存症の方もグループホームにはいるか？

A. いる。入院して断酒してからグループホームには入っているの、飲酒欲求はないといわれている。断酒会にかよっている人もいた。そういった方が再飲酒しないよう、生活支援をしていく。

グループホームにいるアルコール依存症の方の数は以前より少なくなった。

その他意見等)

- ご家族より～実際に港夢で生活してみて、金銭管理や食事の摂取のことなど課題がよくわかるようになった 本人がけがをしたときなども連絡をもらったりしてお世話になっている。
- 利用者の方より～お薬の管理がめんどろ、支援をしてもらっている。不調なときは食事を持ち帰ってもらったりしている。就労継続支援A型事業所に普段は通って仕事をしている。気分転換に外出したりしている。

港夢より、ゴミ出しをさせてもらっているが、グループホームの利用者の方がルールをまもって生活できているかお尋ねしたところ、地域から苦情は聞いていないということだった。

5、施設見学

2班に分かれて見学。

消防への誤報がこういったGHから多い、訓練はどうしているかと質問あり、毎月のミーティングで消火方法や消火器の場所の確認をしていることや、年に2回総合防火訓練を実施して実際に避難訓練などを実施していることを説明した。食事はどうなっているのかなど聞かれ、食堂の案内もした。

6号については広くて明るい、寮みたいな感じだと感想がでた。2, 3号については、裏のがけ崩れの心配をされ、工事の予定はないか質問があり、今のところ工事の予定はないことをお伝えした。